

ニヌファブシ

首里城下町クリニック 第二・第三・那覇西クリニック・那覇西クリニックまかび

共同発行情報誌

vol. 25

2021

「ニヌファブシ」とは沖縄の方言で北極星の意味です。「ていんさぐの花」にも歌われるように灯りのない昔、人々は北極星を道しるべにしていました。そんな北極星のように、那覇西、首里城下町、両クリニックが地域に根ざし、皆様から慕われるような病院でありたいという思いがこめられています。

Information magazine “NINUFABUSHI”

Dr.玉城 春の叙勲

開院25年になりました。 73才にもなりました。

コロナ、コロナの中、5月に開院25年が過ぎて行きました。開院以来のスタッフも元気に働いています。コロナに感染した人もいませんでした。コロナ騒ぎの中でも病院を閉鎖することなく、仕事を継続することができました。

那覇西クリニックを開院し25年、その前は県立那覇病院で17年勤務しました。沖縄の医療に長い間従事することができました。その中でも沖縄県から乳がんで亡くなる方を減らそうと、乳がん検診、乳がんの診療をライフワークに仕事をしてきました。お陰様で那覇病院での乳がん手術が720例、那覇西クリニックの手術例が5600をこえ、合計6000名以上の乳がん治療のデータベースができました。

私たちのデータベースにはたくさんの乳がん情報が記録されています。大変嬉しいことに、このデータベースを活用しながら、当院の滝上先生に東北大学から博士号が授与されました。今年1番の嬉しいことです。残念ながらそのお祝いを開催することができません。「コロナよ早く去れ!」です。

また私事ですが、那覇市医師会の理事として、また沖縄県医師会の副会長として10年以上にわたり、県民、市民のための仕事をさせて頂きました。その間に仲井真知事のもとで7年間にわたり政策参与として沖縄県の医療のための仕事もさせて頂きました。平成21年の新型インフルエンザは沖縄県と医師会が一緒になり、総力を上げて取り組み日本で最初に収束させることができました。

このように医師会員としての仕事、ライフワークとしての乳がん診療など楽しく仕事をしてきました。この私の仕事を評価いただき、令和3年4月29日に春の叙勲、「旭日双光章」の荣誉に浴することができました。受賞に際しては医師会員の皆様のご支援、私たち那覇西クリニックを支えて頂いている職員の皆様、患者さん、そして何よりも私に好きな仕事をさせてくれ、5名の子供の子育てを一手に引き受けてくれた妻に感謝しています。

これからも体の続く限り皆様と共に元気に仕事をしていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。



文/
那覇西クリニック
理事長
玉城 信光

素敵なシャツを
記念品として
いただきました。

記者会見の様子



2019年に琉球新報から書評「精読雨読」の執筆依頼が来ました(2019年4月9日琉球新報朝刊に掲載)。本を一冊選んで講評するのですが、「私の夢」と題し、私の思いのたけを思いっきり書いたことがあります。あまりにも本の事を書かなかったものですから、新報社から「もうちょっとは本のことも書いて下さいよー」とおしかりを受けて、少しは本の内容も書きましたが、7割近くは私の「夢」について書かせて頂きました。

わたくしには「夢」があります。一中略一自然、歴史、文化、芸能、観光、医療、医科学、教育、産業、どの分野においても世界一の、夢と希望に満ち溢れた輝かしい沖縄県の未来を創ってみたい。これがわたくしの「夢」でございます。

私は強烈なOkinawan Identity(オキナワン・アイデンティティー)の元、かつてJAPAN As Number 1(ジャパン・アズ・ナンバーワン:世界一の日本)と言われ、世界が日本に目を向けていたように、Okinawa As Number 1を目指して、世界が沖縄県に目を向けるような、世界における沖縄県の存在価値、プレゼンスを高めることが出来たらと心より思うところです。



文/
那覇西クリニック
診療部長
玉城 研太郎



Dr. 研太郎コラム

サイエンスは 止まらない



そして那覇西クリニックは世界一のクリニックを目指して、沖縄県の皆様に寄り添いながら、質の高い医療の提供と、最先端の医科学研究を行い医学の進歩に貢献してきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中でも乳腺診療に妥協はなし。そして医科学研究を、医学の進歩を止めてはいけない、と治験や臨床試験、そして医科学研究を進めてまいりました。

2021年10月からは、那覇西クリニックと国立がん研究センター、日本対がん協会と共同で、「血液検査で乳がんが発見できるか」、血液中のがんの断片のマイクロRNAを計測して、乳がんを発見できるかという新しい研究を始めたところです。現状のマンモグラフィと乳房超音波検査に加えて血液のマイクロRNA検査で、より精度の高い乳がん検診が実現できるか。那覇西クリニックが世界の医学の発展の一躍を担えることが出来るのなら、これほどうれしいことはありません。

今まで「沖縄から世界へ」を合言葉に頑張ってきましたが、次は「世界から沖縄へ」をスローガンに、世界から注目される沖縄県を目指して、那覇西クリニックも更に明るく楽しく元気よく、一致団結頑張ってくださいと思います。

超音波でインプラントチェック

当院では、年間300人以上の乳癌患者さんの手術を行なっています。癌根治を目指すための標準術式の1つとして乳房切除術は必要な手術です。一方、乳房切除の場合乳房喪失による不安を抱えてしまうこともあります。そんな中、2013年にインプラント(シリコン人工物)による乳房再建が保険適応となり当院でも選択肢の1つとなりました。乳房喪失に対する不安軽減にはなくてはならない方法です。

そんななか保険承認されていたインプラント・エキスパンダーによりブレスト・インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫(BIA-ALCL)の発生が報告され、一時乳房再建が中止になってしまいました。BIA-ALCLはインプラント挿入後平均9年以上後にインプラント周囲に発生する非常に稀な疾患で、インプラントの違和感、乳房全体の腫れ、乳房の発赤などの症状が見られるそうです。

これまで当院では術後インプラント挿入患者さんの定期超音波検査時、インプラントに関する検査手順の取り決めがありませんでした。そこで今回、過去の症例を見直しインプラントに関する検査手順法の検討を行いました。

検査手順法を見直すことによりインプラントやその周囲の状態を細かく観察・確認することができるようになりました。今後も安心してインプラントを患者さん皆さんに利用してもらえるように取り組んで行きたいと思います。



文/
那覇西クリニック
検査
親川 美香

ピンクリボン 沖縄2020

去る2020年10月4日、『ピンクリボン沖縄2020』が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大の為、パレットくもじ前での活動でした。少しでも早く、この事態が収束し、例年のように皆様と一緒に、国際通りをピンクウォークしたいです。

沿道での
研太郎先生の
貴重なお話、
ありがとうございます!



ティッシュ配り
がんばりました!



「ピンクリボン」、
見かけたら乳癌健診
思い出してね〜♪

パレット前で全員集合!
みんなピンクTシャツ似合ってる!



暑い中頑張りました!

皆さん、暑い中
お疲れ様です

スタッフの皆さん
おつかれ様でした

10月は乳癌推奨月間です!
検査忘れずに受けてね。

勤続10年・20年表彰

勤続20周年・10周年を迎える勤労功労者への表彰などが行われました。



勤続10年の宮城良枝さん。
ナイススマイル☆



勤続10年の古見実也子さん。
ビューティフル🌸



勤続20年の運天幸子さん。
チャ～ミング～♡



今年は3名の職員が
勤続10年・20年の表彰式を
行いました。

おめでとう!

那覇西クリニックの

新人紹介

新しいメンバーが仲間入りしました。よろしくお願いします♪



赤嶺 沙織 (医療事務)

昨年10月より産休代替としてまかびで勤務させていただいております。赤嶺沙織と申します。医療関係の仕事は初めてで至らないことも多いと思いますが皆様のお役に立てるようがんばります。約1年間の勤務となりますが宜しくお願いいたします。



我謝 桃子 (看護助手)

2月から看護助手として会計窓口で勤務しております。患者さんに安心して受診していただけるように、丁寧な対応を心がけます。よろしくお願いします。



金城 淳子 (医療事務)

4月から受付窓口で勤務しております。病院での受付は初めてですが、看護師の方、医事課の方の皆に教えてもらいながら、頑張っています。よろしくお願いします。



花城 由美子 (看護助手)

2月9日からまかびで勤務しております。周りの皆さんに助けられ、楽しく仕事をしております。これからも頑張りますのでよろしくお願いします。



知念 匠可 (看護師)

乳腺外科は初めてとなります。周りのスタッフに支えられながら、仕事を覚えている段階です。至らない点もあるかと思いますが、日々不安を与えない様、努めてまいります。よろしくお願いします。



本間 淑子 (看護師)

ナース経験としては、18年目となります。日々、努力を重ね、看護のスキルを高めて、いきながら患者様と一人ひとり、向きあい信頼して頂けるよう、お役に立ちたいと考えております。私生活では、パン作ったり、お菓子作り頑張りたいです。皆様、よろしくお願いします。



崎原 唯 (看護師)

今年8月から、那覇西クリニックの病棟で勤務させていただきます。まだまだ、ご迷惑をかけると思いますが、早く覚えて、動けるように頑張りたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

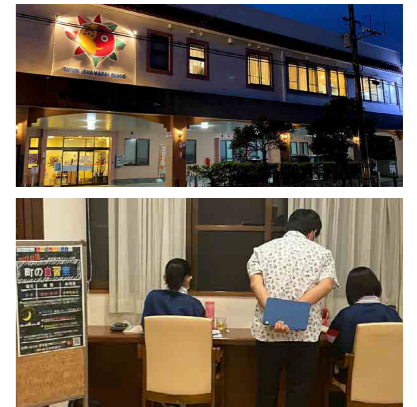
若い世代に関わることを考えてみました



首里城下町クリニック第一
田名 毅 院長

これまでクリニックでは、医学士や研修医を地域医療実習、地域医療研修として受け入れてきました。そして医学生・看護学生の学校での特別講義を頼まれ、職員の子どもを中心に中学生の職場体験を受け入れてきました。これらはすべて、医療に関わる若い世代への支援です。

そして三年前から当院の統括マネージャー兼保健師である妻が、学びたいを応援する「町の自習室」を開所しました。現在大学三年生の娘の子育てから、学びと学びの環境の大切さを感じ、娘に限ってかもしれませんが、家は寛ぐ場所であり誘惑も多く、なかなか勉強できないと中高時代は塾の自習室やカフェを学ぶの場としていた事を知りました。妻も学生時代はファーストフードで友人と勉強していたと言います。自分のペースで自習できる場



町の自習室

所を探すのに苦労している学生が今も昔もいると想像します。当院にある「食を考えるコーナー」には管理栄養士、調理師がいて料理教室やサンプル食を患者さんに提供しています。診療後の夜のクリニックの有効活用の一つとして、カフェのような自習室を始めた経緯がここにあります。Hクッキングヒーターやスープウォーマーを利用した温かい食事を希望する利用者にワンコイン(百円)で提供し、琉球大学医学部の学生たちに、自らも学ぶ姿勢を示しながら学習支援ボランティアとしてお世話になっていきます。

私自身小学校の頃は、野球少年で、中学校に入って親に進められた入塾テストでは成績別五

クラスの下から二番目のクラスでした。その後、親戚が紹介した大学生が家庭教師となり、数学の楽しさを教えてくれました。徐々に席次が上がり成績が伸び一年後には、県外受験を目指し一番上のクラスに上がりました。頑張り続ければ成果は上がるといえるのは、野球だけでなく勉強をはじめ多くの事で共通することを知りました。私自身の体験からも、これから勉強を頑張りたいという学生達の多くに「町の自習室」を利用してほしいと考えています。

「町の自習室」は中高生の居場所としても認識されており、那覇市社会福祉協議会(社協)に寄付された食糧などの提供を受けています。私は社会奉仕団体である那覇東ロータリークラブに所属しています。コロナ禍で生活状況が厳しくなっている方々に何か関わ



ロータリークラブ
那覇母子寡婦福祉会へ冷凍庫寄贈

ないかと考え、社協の方々に相談したところ、「那覇母子寡婦福祉会」を紹介いただきました。そしてロータリークラブとしての補助金を利用して四百世帯を対象に三キロのお米、冷凍肉、野菜を提供するプロジェクトが実現しました。冷凍品を保存できる冷凍庫も寄贈し、今後このような寄贈が受けやすい環境を作りました。先日第一回の提供を行った際に、ほぼすべての家庭が母親と一緒に子どもたちも来てくれました。親子の皆さんから「ありがとうございます。」と感謝の言葉がありました。この子どもたちが将来、社会奉仕をする気持ちを持って、何かをしてくれることを願っています。

妻がはじめた「町の自習室」が、社協の子どもの居場所支援につながり、そしてロータリークラブの母子会支援につながったと考えます。まずは行動を起こすことで多くの有機反応が社会に起こることを実感しています。

首里城下町クリニックの歴史

首里城下町クリニックはおかげさまで2021年に、第一開院20周年・第二開院15周年を迎えました。病院としての役割はもちろん、地域への貢献など様々な活動をしてまいりました。20年のあゆみをたどってみました。



2001 2002 2003 2006 2007 2008 2009 2011 2013 2015 2018 2019 2020 2021

11月1日
田名内科クリニック開院



継続中!
ふれあい健康フェア(カーラ会夏祭り)
地域むけ医療講演会スタート
ニヌファブシ発刊(那覇西クリニックと共同)

2003
ホームページ開設
(名護〜那覇75キロたすきリレー)
臓器移植啓発イベント
医療法人化「医療法人麻の会」



2006
10月1日
首里城下町クリニック第二開院
(名称変更)

2007
「走ろう・歩こう会」結成
透析患者会開催(クリニック主催)
「食を考えるコーナー」新設
「働く人健康支援室」「町の保健室」新設



2008
透析患者会の名称が「あさの会」へ。
(当事者運営)



2009
継続中!
(78)タイフーンFM
ラジオ出演



2011
田名院長被災地へ応援救護活動
地域むけ医療講演会100回



2013
継続中!
那覇看護専門学校講義
第1回那覇医師会

2015
透析だより発刊(「かわら版」初回)
(大会長・議長:田名院長)
沖縄県人工透析研究会



2018
「町の自習室」開設
夜のクリニックを開放した



2019
お正月訪問開始
お正月患者様

2020
地域むけ医療講演会YouTube配信スタート
垂直幕による健康標語の発信
コロナ感染症対策に応じた診療体制へ移行
おきなわSDGsパートナー加入

2021
首里城下町クリニック第二開院15周年
首里城下町クリニック第一開院20周年

20年勤続者よりコメントをもらいました!

首里城下町クリニック第一の20周年を記念して、これまで20年間を共に支えてくれたスタッフより、患者会小話・ちょっと

いい話・忘れられない話…。などなど、記念コメントをいただきました。これからもよろしくお願いします!

伊是名 カエさん(栄養管理士)

20周年おめでとうございます。
私は、外来・透析患者さんの栄養指導、第一クリニックの食コーナーのメニュー作成、第二クリニックの献立作成を行い、さらに料理教室は200回を超え、一般の方向けだけでなく、患者会や食育イベントなど、色々な経験をさせて頂き、発表をする機会も得て、成長させて頂いています。それら全て先生方のご理解とスタッフの支援のお陰で継続できていると思います。感謝です。
これからも常に何が出来るか考え、病院の理念に応えることができるように努めていきたいと思っています。

吉田 桂子さん(透析調理師)

第一クリニック20周年、第二クリニック15周年開院おめでとうございます。
私は開院当初より、クリニックの厨房に勤めております。これまでに、患者様から「食事の時間が楽しみ」「美味しかった」など嬉しい言葉をたくさんかけてもらいました。
これからも患者様やスタッフのみんなに喜んでもらえるように美味しい食事を提供していきたいと思っています。

大宜見 彩さん(外来医事)

第一クリニック20周年、第二クリニック15周年おめでとうございます。
20年前は、ピンクの制服の似合う私でした。ピチピチでした。それが今では・・・(*^_^*)
患者さんからは「あなたの声聞くと元気がでるさあ」と言われ、嬉しいこともたくさんありました。
これからも元気いっぱい頑張ります。

川上 留美さん(外来医事)

首里城下町クリニック第一開院20周年、第二開院15周年誠にありがとうございます。これまで勤めてこられたのも、今まで支えて下さった皆様方や、家族の協力のおかげです。心より感謝申し上げます。
20年を振り返ると色々な思い出がありますが、そこにはいつも優しさや温かさがあり、人とつながることの大切さ、クリニックで働く喜びを感じることができました。
これからもクリニックの発展のため、「初心」を忘れずに努めてまいりたいと思います。今後とも皆様のご指導、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

先生たちに質問?

いつもニコニコやさしい先生たち。でも私生活は謎…?!
そんな先生達に20周年・15周年を記念して質問に答えていただきました。

第一クリニック院長 田名 毅先生
第二クリニック院長 比嘉 啓先生

回答は赤文字



回答は青文字

01 休日の過ごし方は?

- 田 朝はEテレ「日曜新美術館」を観ています。その後はジョギングをしています。
- 比 最近ロードバイクで恩納村あたりまで出かけてます。また、ごく最近ワクチン接種の応援。接種会場で患者さんに会うと、嬉しくなります。

02 武勇伝は?

- 田 小学生の時、少年野球ピッチャー・マラソン大会優勝
- 比 100Kmマラソン3年連続完走。

03 苦勞が報われた話は?

- 田 妻と結婚したこと、開業できたこと。
- 比 好きでやってきた仕事なので、苦勞という言葉はピンとこない。ただ仕事は好きなことばかりではないので、苦痛はたびたびあるが、苦痛は報われない(笑)

04 若さを保つ秘訣は?

- 田 体形を意識しておしゃれすること
- 比 保ててない

05 座右の名は?

- 田 敢為邁往

06 診察していて楽しかった時は?

- 田 患者さんと一緒に笑える瞬間が好きです。

10 実施している健康法は?

- 田 毎朝、愛犬と一緒に散歩すること
- 比 スポーツジムでの有酸素運動。結局その後晩酌して、逆効果(笑)

- 比 マラソンにはまっていた時期に、同じくマラソンする患者さんと診察室で大会などの談話に花が咲き、これで診察料をいただいてよいものかと思うほどであった。

08 大切にしている物は?

- 田 家族と愛犬、クリニック
- 比 家族

12 田名先生にスカウトされてどう思ったか

- 比 前勤務先では診療中心から次第に管理へ仕事量がシフトしてきて、違和感を感じていたところであった。田名先生に誘われて、診療を中心にできるクリニックの勤務医の話に飛びついた。

13 20周年、15周年を振り返って一言!

- 田 今、出来ている診療を末永く続けていきたい。
- 比 転動してきた15年前は田名先生との若手のペアで沖縄県の腎臓内科医療を良い方向に変えようと思っていたが、中途半端なまいつのまにかベテランの域に達してしまった。

14 比嘉先生をスカウトした理由は?

- 田 一人で診療を続けることに限界を感じたから

15 風邪を引かない為にしていることは?

- 田 毎日の散歩は効果あります!!
- 比 キノコ類を多く取っている。

16 診療以外で夢中になっていることは?

- 田 ロータリークラブの活動
- 比 ロードバイク

17 尊敬している人は?

- 田 大屋祐輔先生 バランスよく組織を運営し、成果を上げられているから

18 クリニックへ今後の展望は?

- 田 13と同じ回答
- 比 これまでは腎・膠原病の専門医として、最新の知識を盛り込みながら診療に当たることを中心に行ってきたが、今後はそのあたりは総合病院の若手専門医に任せていくべきかと考えている。我々は患者さんの高齢化における在宅医療等に目を向けて、総合的に寄り添った診療を考えていく必要があると考えている。

19 読者へのメッセージはありますか?

- 田 クリニックにしか出来ないことを探して、これからも頑張っていきます!!
- 比 医療人は得てして自らを犠牲にしても患者さんのためにと仕事してしまう傾向があります。ある意味治療を押し付ける感じになってしまいます。しかし、自分が歳をとるにつれて改めて振り返ると、自らの健康に気を配りながらその体験をふまえて、患者さんと一緒に「健康面を中心とした生き方を相談して決めていく」スタイルでもよいのかと、考えが変わりつつあります。そんな若手ではなくなった首里城下町クリニックの医療スタッフにも気軽に診察・相談に来ていただければと思います。

回答ありがとうございました!

コロナウイルスワクチン接種を実施



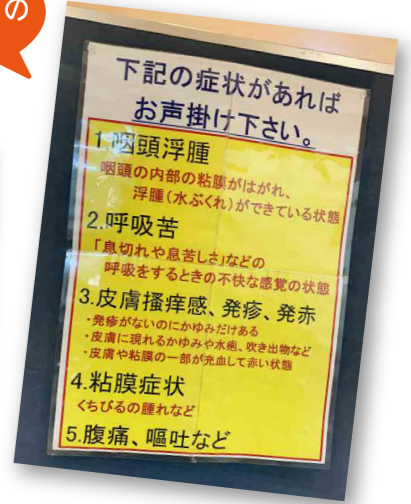
4月下旬～5月末は自院、近隣の医療従事者、6月～高齢者、8月～65歳以下対象に実施中、田名先生が産業医として契約している企業の職員にも日曜日接種を行いました。

ワクチンの取り扱いや2回接種の予約まで、すべてが初めての事でしたので医師、職員間で何度も話し合いと工夫を重ね、通常診察を行いながら、第一、第二クリニックの職員総出で実施しました。

11月末までに1,911名を接種しました。



接種直後のアナフィラキシーショックの特徴を掲示しました。



地域むけ医療講演会 youtube 配信スタート!

首里城下町クリニックでは開院当初から毎月1回、地域の皆様へ向けた医療講演会を開催していましたが、新型コロナの影響もあり、多人数参加型の講演会の一時休止を余儀なくされておりました。2020年8月に当院のYouTubeチャンネルを開設し、現在はインターネット配信しております。これまで通り当院の医師や県内でご活躍の先生方に、正確で有用な医療情報を提供しています。

2020年11月には200回講演を迎えることが出来ました。院内や自治会のポスター、ホームページなどで講演内容をお知らせしております。過去の配信もアーカイブからご視聴頂けます。ぜひご利用ください。



こちらのQRコードからチャンネルに行けます。



▲撮影風景

ニヌファブシ 広報委員紹介

編集後記

★ 首里城下町クリニック ★ 那覇西クリニック

川上 千恵美

與儀 雅代

高江洲 睦代

与那嶺 貴子

山川 康恵

泉川 涼子

中山 恵理子

比嘉 裕也

松竹 美香

謝花 尚美

新垣 美奈

今回のニヌファブシはいかがだった
でしょうか。

発刊25号となり、那覇西クリニックと
首里城下町クリニックの飛躍がととも
感じられる号になったと思います。

新型コロナウイルスの影響で私たち
の生活は一変してしまいましたが、
両クリニックは今までと変わらず、皆
様と共に成長していきたいと思っ
ております。

来年は新型コロナウイルスが終息する
ことを願います。



infomation

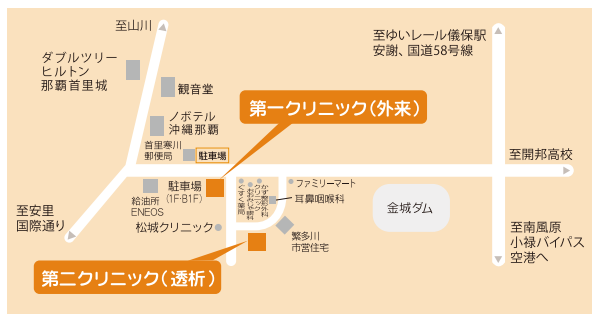
医療法人 麻の会 首里城下町クリニック 第一 第二

第一クリニック (外来)

腎臓病・高血圧症・リウマチ・
膠原病・糖尿病・循環器疾患・
その他内科一般

第二クリニック (透析)

血液透析 (外来)



第一

〒902-0062 那覇市松川3丁目18番30号

TEL.098-885-5000

FAX.098-885-5007

受付時間 月・火・水 8:30~11:30/13:30~17:00
木 曜 日 8:30~11:30/13:30~16:00
土 曜 日 8:30~11:30/午後休診

休診日 日曜・祝祭日・年末年始

第二

〒902-0071 那覇市繁多川3丁目5番18-4号

TEL.098-833-1001

FAX.098-833-1006

受付時間 8:30~17:30

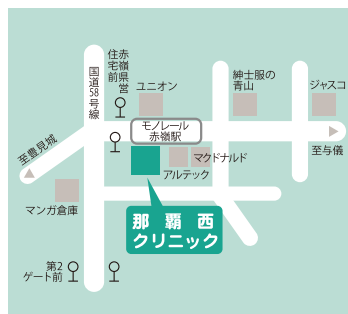
休診日 日曜

※月・水・金は夜間透析も行っています。

<http://www.shuri-jc.jp>

医療法人 那覇西会 那覇西クリニック

内科・外科・胃腸科
人工透析・乳腺外来
甲状腺外来



〒901-0154 那覇市赤嶺2-1-9

TEL.098-858-5557

FAX.098-858-5552

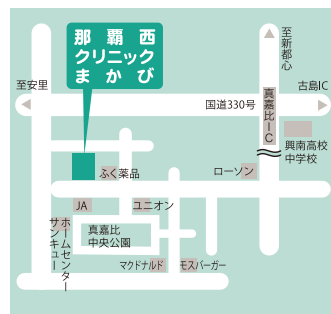
受付時間 8:30~11:30/13:30~17:00

木曜日 8:30~11:30

休診日 日曜・祝祭日

医療法人 那覇西会 那覇西クリニックまかび

乳腺・甲状腺外来



〒902-0068 那覇市真嘉比2-29-22

TEL.098-884-7824

FAX.098-884-7820

受付時間 8:30~11:30/13:30~17:00

木曜日 8:30~11:30

休診日 火曜日・日曜・祝祭日

<http://www.naha-nishi-clinic.or.jp/>